

3 石垣原合戦に参加した武将

西軍
(石田方)



吉弘統幸 (よしひろむねゆき)
(宝泉寺蔵)

やり めいしゅ ゆうめい
鎧の名手として有名で、いしがきばるかつせん おおともくん 石垣原合戦では大友軍のちゆうしん たたか 中心となつて戦いました。そのゆうもつ ひとがら 勇猛さと人柄がべつぶ ひとびと した ら別府の人々に親しまれています。

東軍
(徳川方)



黒田官兵衛 (くろだかんべえ)
(大分県立歴史博物館蔵)

とよとみひでよし ぐんし かつ
豊臣秀吉の軍師として活躍、秀吉の天下統一を助けた。石垣原合戦では、実相寺山の山頂に布陣したと伝えられています。

東軍
(徳川方)



井上九郎右衛門 (いのうえくろうえもん)
(福岡市博物館蔵)

くろだかんべえ かしん
黒田官兵衛の家臣。冷静な判断で戦況を読み取りました。吉弘統幸との一騎打ちが語り継がれています。

東軍
(徳川方)



松井康之 (まついやすゆき)
(松井文庫蔵)

ほそかわただおき かしん
細川忠興の家臣。木付城に攻め込んだ大友軍を退け、続けて行われた石垣原合戦でも活躍し、領地を守り抜きました。

九州の 関ヶ原 石垣原合戦

よしひろむねゆき
吉弘統幸 (宝泉寺蔵)

関ヶ原合戦図屏風 (関ヶ原町歴史民俗資料館蔵)



くろだかんべえ
黒田官兵衛
(大分県立歴史博物館蔵)

1600年(旧暦)9月13日、別府の扇状地で大友義統と黒田官兵衛との間で合戦が行われました。石垣原合戦と呼ばれるこの合戦は、「天下分け目」の関ヶ原合戦の2日前に両軍が激突し、黒田官兵衛の勝利で終了しました。敗れた大友義統は捕えられ、豊後大友氏400年の歴史は別府の地で幕を閉じることになります。石垣原合戦は、九州の大勢を左右する重要な合戦となりました。

4 踊り継がれる石垣原合戦<ヤッチキ>

べつぶ まつ した
別府の祭りで親しまれている「ヤッチキ」は、いしがきばるかつせん だいざい おど 石垣原合戦を題材とした踊りです。合戦の記憶は、「ヤッチキ」を通じて踊り継がれています。



ー ヤッチキ ー

ハアーヤッチキドッコイドッコイナ

- (1) さても大友義統様は、故郷豊後の速見を指して
- (2) 帰り給うや立石城に、しばし足をも名もとどめける
- (3) かくと聞くより豊前の国の、中津城主は黒田の如く
- (4) 悪に長ぜし大友屋形、退治せんとて乗り入れ給う
- (5) 豊後横灘鶴見のうちに山を小楯に陣取り給う
- (6) 都合其勢八千余騎の、八千三五の二手に分かれ
- (7) 裏と表にたち分れ行く、頃は慶長五年の九月
- (8) 菊の花時十三日の、朝の卯の刻一番揃い
- (9) 続く踊りは別府のはやし、三味や太鼓に銭ばち持って
- (10) サアサー輪になれ別府のはやし、後が続けば皆続きます

1 関ヶ原合戦と石垣原合戦

関ヶ原合戦 (1600年9月15日)

西軍
(石田方)



石田三成 (いしだみつなり)
(龍潭寺蔵)

とよとみひでよし しご おお だいまつ みかた せりよくの 伸ばした 徳川家康(東軍)と豊臣家の政権を守ろうとする石田三成ら(西軍)が対立し、両者は1600年に関ヶ原(岐阜県)で合戦を行いました。この合戦に勝利した徳川家康は、1603年に朝廷から征夷大将軍に任じられ、江戸(東京都)に幕府を開きました。

東軍
(徳川方)



徳川家康 (とくがわいえやす)
(大阪城天守閣蔵)



石垣原合戦 (1600年9月13日~15日)

西軍
(石田方)



大友義統 (おおともよしむね)
(大分市歴史資料館蔵)

豊後(大分県の一部)では、東軍(徳川方)に味方した細川忠興の領地を巡る争いが起きました。この地は、徳川家康の意向で細川家に与えられたもので、西軍はこれを不正であると糾弾し、取り戻そうとしました。西軍に味方した大友義統(前の豊後の大名)は、細川家の木付(杵築)城を攻めますが失敗し、別府に撤退します。木付城の救援に駆けつけた黒田軍が、大友軍を追いかけて別府の実相寺山付近に布陣したことにより、石垣原合戦が行われることになりました。

東軍
(徳川方)



細川忠興 (ほそかわただおき)
(八代市立博物館蔵)

学校 年 組 番 氏名

その2 石垣原合戦の流れと史跡



『豊後国速見郡石垣原図』*江戸時代に描かれた石垣原合戦の古戦場図です。
(国立国会図書館蔵)*古戦場図と現在の地図を比べてみましょう!



合戦の日	大友軍と黒田軍の動き
1600年(旧暦) 9月9日	おおともよしむね おおさか ふね き はまわき しょうりく おおともくん かんがい 大友義統は、大阪から船でやって来て、浜脇に上陸。大友軍は観海寺・南立石本町・堀田付近に布陣しました(①・②・③)。
9月13日	ひるごろ くらだくん じつそうじやま ふんじん ふじん かつせん はじ 昼頃に黒田軍が実相寺山付近(④)に布陣してすぐに合戦が始まりました。黒田軍は大友軍を押し込みますが、現在の南立石公園付近(⑤)で反撃を受け、黒田軍は多くの武将を失いました。
9月15日	かす まさ くらだくん しだい もり かえ おおともくん よしひろむねゆき うちと しょうり 数に勝る黒田軍は次第に盛り返し、大友軍の吉弘統幸を討取り勝利を決定的なものにしました。
	ゆうがた くらだかん ベえ じつそうじやま とうちやく 夕方すぎに、黒田官兵衛が実相寺山に到着しました。
	おおともよしむね こうぶく いしがきばるかつせん しゅうりょう 大友義統が降伏し、石垣原合戦は終了しました。

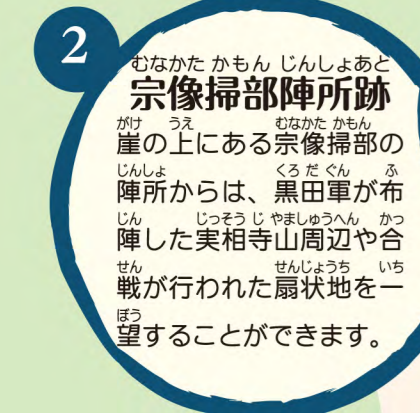
- ② 宗像掃部陣所跡
- ① 大友義統本陣跡



5
みなみたていこうえん
南立石公園
この辺りは、合戦序盤の激戦地と伝えられており、大友軍の攻撃によりくらだくん ゆうりよくふしよう うちと 黒田軍の有力武将が討取られました。



1
おおともよしむねほんじんあと
大友義統本陣跡
大友義統は、キリシタン大名として有名な大友宗麟の息子で、昔の領地を取り戻すため別府の浜脇から上陸し、現在の南立石本町付近に布陣しました。



2
むなかた かもん じんしよあと
宗像掃部陣所跡
崖の上にある宗像掃部の陣所からは、黒田軍が布陣した実相寺山周辺や合戦が行われた扇状地を一望することができます。



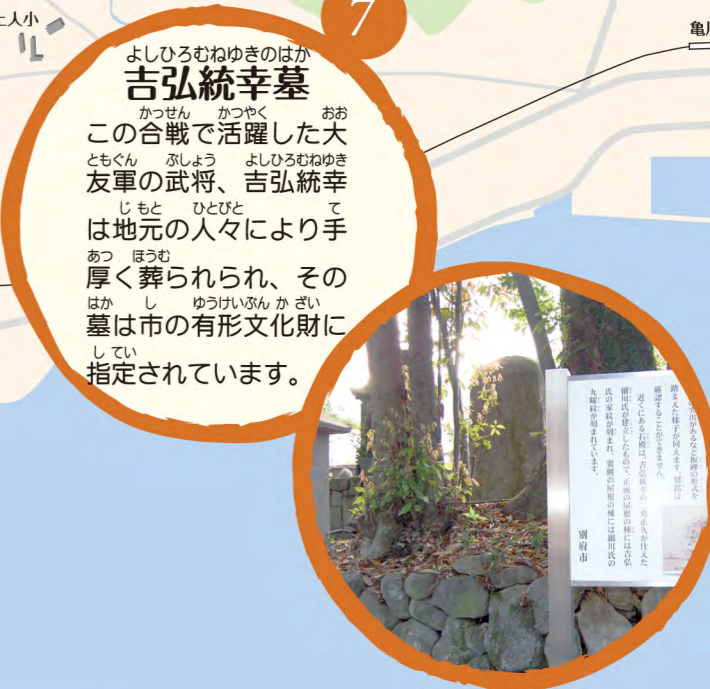
4
じつそうじやま
実相寺山
9月13日の晩に、黒田官兵衛は実相寺山の山頂に布陣したと伝えられています。この場所からは合戦が行われた扇状地を一望することができます。



3
よしひろむねゆきじんしよあと
吉弘統幸陣所跡
大友義統のもとには、吉弘統幸ら昔の家臣たちが集まってきました。



6
ななしし
七ツ石
激戦地の一つと考えられ、大友軍の吉弘統幸と黒田軍の井上九郎右衛門の一騎打ちは、この辺りで行われたと伝えられています。



7
よしひろむねゆきのはか
吉弘統幸墓
この合戦で活躍した大友軍の武将、吉弘統幸は地元の人々により厚く葬られ、その墓は市の有形文化財に指定されています。

